

2020年10月13日

〈ニュースリリース〉

理化学研究所
サントリー酒類株式会社
凸版印刷株式会社

飲食店における新型コロナウイルス感染症拡大防止の 協働取り組みについて

理化学研究所（理研）、サントリー酒類株式会社（サントリー酒類）および凸版印刷株式会社（凸版印刷）は、飲食店における新型コロナウイルス感染症拡大防止に協働して取り組みます。

新型コロナウイルス感染症においては、感染拡大防止と経済活動の両立が課題となっており、特に飲食店における感染拡大防止は、日本のみならず世界においても重要な課題です。

理研では、2021年度の共用開始を目指し開発・整備を進めるスーパーコンピュータ「富岳（ふがく）」を用いて「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策」について研究開発を実施しています。今回、その研究成果の一部を活用し、サントリー酒類と凸版印刷は、フェイスシールドの開発、飲食店での実証実験を行います。開発するフェイスシールドの設計情報はオープンデータ化し、広く社会に貢献していくことを目指します。

本取り組みは、Society5.0の時代に強く求められる、「富岳」を活用した科学的知見をもとに、企業が実効性ある対策を実施するものであり、三者で力をあわせ新型コロナウイルス感染症の克服に貢献します。

▽本件に関するマスコミからのお問い合わせ先
サントリーホームページ <https://www.suntory.co.jp/>

以 上

水と生きる **SUNTORY**

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。
貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。
水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。
これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。